

あゆむ

H29年度認知症の人とあゆむ会講演会・介護事例研究発表会

認知症の人とあゆむ会講演会が12月2日小佐野コミュニティ会館大ホールで開催されました。はじめに、はま神経内科クリニック濱登文寿院長より、「認知症の人の気持ちに立って一緒に考えてみましょう」というテーマでご講演頂きました。認知症の方の視点でその行動をわかりやすくご説明され、一見不可解に思える認知症の方の行動1つ1つに理由があり、介護者はそれを理解して対応することが大事であるという内容でした。

第1部の講演に引き続き第2部は、認知症介護事例研究発表として市内5事業所より発表頂きました。

○特別養護老人ホームアミーガはまゆり 千代川智紀さん

被災された認知症の方が、施設に入所しても不安なく過ごせるようその方に合ったケアを行った事例を発表。

○小田島アクティ 昆周司さん

徘徊感知機器を利用することで、徘徊を未然に防ぎ、介護者の負担が軽減された事例を発表。

○デイサービスセンター善 前川寛さん

デイサービスでの活動内容を利用者自らが選択し、

その人らしさを引き出しながら互助の関係を構築していく取り組みについて発表。

○小規模多機能ホームやかた 野田奈津子さん

通いと訪問と泊まりを組み合わせたサービスを利用し、地域で孤立する認知症高齢者が住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう支援した事例について発表。

○老人保健施設はまゆりケアセンター 上野佐姫子さん

認知症周辺症状のある方へ、これまでの生活歴や嗜好等をアセスメントし、周辺症状への対応方法を職員が共有して取り組んだ事例について発表。

どの事業所も、講演会のテーマのように認知症の方の気持ちに寄り添い対応されている様子がよく分かる発表となりました。



ミニ講座 ユマニチュードについて

ユマニチュードとは

フランスのイヴ・ジネスト氏らによって開発された新しいケア方法です。見つめる、話しかける、触れる、立つという4つの方法が柱となっています。

① 見つめる

同じ目線の高さで近距離で親しみを込めた視線を送りましょう。私はあなたの味方ですという事が伝わります。

② 話しかける

優しくゆっくりと前向きな言葉で1つ1つ話しかけましょう。心の通ったケアになります。

③ 触れる

背中や手を優しく包み込むように触れることで安心感を与えることができます。

④ 立つ

筋力の低下を少しでも防ぐことができ、立つことで視野が広がって、頭に入る情報量が増えます。

ユマニチュードの効果

認知症の人と良好なコミュニケーションを取り、人格を大切にケアすることで、認知症の人にも介護する側も負担が軽くなります。実際に投薬量が減ったり、職員の離職率が減ったりと効果も見られています。

ご自宅で介護される際も、ユマニチュードを意識しお互いに関係を築きながら接してみたいかがでしょうか。



★シリーズ★ 認知症最新ニュース

【ビールが認知症に効く！！】

キリン株式会社の健康技術研究所は、東京大学、学習院大学と共同で、ホップ由来のビール苦味成分である「イソα酸」がアルツハイマー型認知症発症時の海馬の動きを改善することで、低下した認知機能を改善することを世界で初めて解明しました。

アルツハイマー型認知症を発症し、認知機能が低下した状態のマウスに7日間イソα酸を投与し脳内の神経活動や行動が分析されました。その結果、記憶に重要な領域である海馬の活動異常が改善することをMRI検査により明らかになりました。ビールを飲むことによりアルツハイマー型認知症の認知機能改善が明らかになりました。が、飲みすぎないように適量でとどめたいものですね（笑）



Happy New Year!

活動予定

☆ つどい定例会（対象：正会員・一般介護者）

・1月17日（水）13：30～15：00

※会場：小佐野コミュニティ会館3階

☆ あゆむカフェ（対象：正会員）

・2月14日（水）13：30～15：00

・3月14日（水）13：30～15：00

※会場：小佐野コミュニティ会館1階

